

# 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 鞘ヶ谷 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

##### <男子>

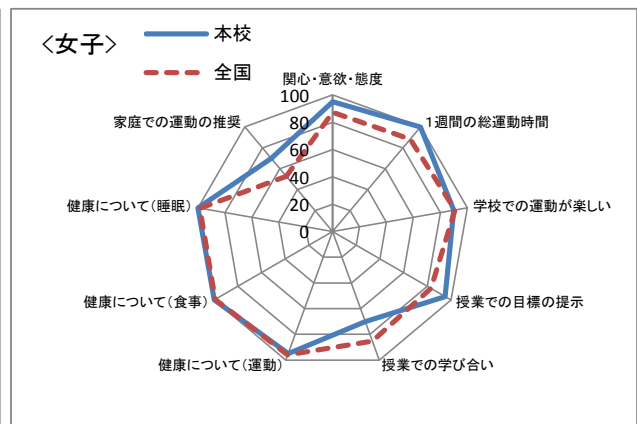
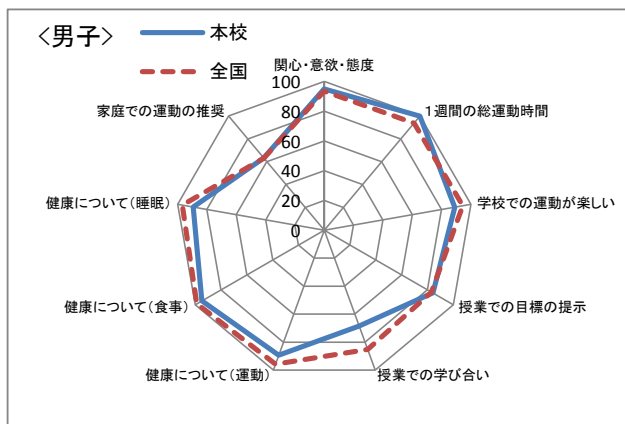
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37
全国平均以上の種目	○	○	○		○	○	○	○	○

##### <女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96
全国平均以上の種目	○	○	○		○	○	○	○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

反復横跳び以外は、各種目男女とも全国平均を上まわっています。本校では、特に男女とも握力と20mシャトルランにおいて全国平均より大きく上まわっています。この要因は、男女とも一週間の運動量(60分以上)が大きく影響していると思われます。また、男子よりも女子のほうが、健康についての意識が高い傾向にあります。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育主任を中心に、全職員で体育の授業では、引き続き体力向上プログラム等を活用した準備運動を児童に行わせ、他教科と同様に体育の授業においても「めあて」と「振り返り」を授業の中に位置づけを徹底することを再確認します。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

学校行事(なわとび集会、鞆っ子マラソン)等を通して、児童に体を動かす楽しさや友だちと一緒に汗を流して動く喜びを醸成することができました。今後も継続して取組を推進するとともに遊びにおいても集団で遊ぶ内容を積極的に周知していきたいと考えています。また、保護者の方にもご家庭での基本的な生活習慣の定着が学力・体力向上の要因にもなっていることについて、日頃から「学校だより」等で積極的に周知していきたいと思います。